



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月28日

上場会社名 **株式会社ケースホールディングス**

上場取引所 東証一部

コード番号 8282

URL <http://www.ksdenki.com>

代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 加藤 修一

問合せ先責任者(役職名) 取締役社長室長(氏名) 林 政廣

TEL (029) 226-2794

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日~平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
平成20年3月期第3四半期	427,644 (31.2)	5,845 (41.1)	12,673 (29.9)	6,910 (43.6)
平成19年3月期第3四半期	325,906 (7.7)	4,143 (65.4)	9,759 (22.7)	4,811 (7.2)
(参考)平成19年3月期	431,118 -	6,136 -	13,910 -	7,142 -

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成20年3月期第3四半期	139 57	138 70
平成19年3月期第3四半期	109 48	108 26
(参考)平成19年3月期	162 12	160 30

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成20年3月期第3四半期	267,334	89,015	33.1	1,820 34
平成19年3月期第3四半期	181,294	67,210	37.1	1,524 78
(参考)平成19年3月期	181,878	70,886	39.0	1,587 52

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成20年3月期第3四半期	2,688	15,884	16,433	13,005
平成19年3月期第3四半期	1,387	8,380	8,195	7,311
(参考)平成19年3月期	486	11,063	10,955	6,826

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第3四半期末
	円 銭
平成19年3月期第3四半期	- -
平成20年3月期第3四半期	- -

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	580,000 (34.5)	9,000 (46.7)	18,000 (29.4)	9,500 (33.0)	194 91

【参考】

平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	456,000 (19.6)	9,950 (21.0)	13,000 (9.2)	7,540 (12.9)	153 11

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 有

【新規 1社(株式会社デンコードー) 除外 1社(株式会社東北ケースデンキ)】

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

業績の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、輸出や設備投資等が堅調に推移し、労働環境も好転いたしましたものの、年金問題や参院選での与野党逆転などの先行き不透明感に加え、実質所得の伸び悩みや原油価格の高騰、更に改正建築基準法施行後の混乱により建築着工の大幅な減少が続くなど、個人消費は盛り上がりには欠け、また、米国のサブプライムローン問題による世界経済の先行き懸念の高まり等もあり、景気は力強さに欠ける推移をいたしました。

その様な中で、当家電販売業界におきましては、引き続き大型店の出店による企業間競争は続いており、また、労働基準法やリサイクル法への不適切な対応など、業界の問題点が社会的に取り上げられ、コンプライアンスに対する企業姿勢が一層問われるようになりました。

このような状況の中で、当社は、「新製品が安いケースデンキ」のスローガンのもと、継続テーマである「お客様に伝わる本当の親切を実行しよう」を掲げ、創業60周年の積極的営業活動を展開してまいりました。

商品につきましては、薄型テレビは単価ダウンはありましたものの引き続き好調に推移し、昨年買い控えのありましたパソコンのほかエアコンやデジタルカメラ、DVD、更には白物家電、携帯電話に至るまで好調に推移いたしました。また、平成19年12月より米国家電量販最大手ベストバイ社の「ロケットフィッシュ」ブランドHDMIケーブルを日本で初めて販売するなど、積極的な営業活動を展開してまいりました。

一方、公正競争の観点から、お客様を誤認させない公正な価格表示の推進や、労働法・リサイクル法をはじめとする各種法令の遵守に努めるとともに、平成19年11月より社長直轄の組織として「省エネ推進室」を設置して全店舗に「省エネ推進担当」を配置し、国家的プロジェクトである省エネへの取り組みにも、真摯に取り組んでまいりました。

営業店舗につきましては、平成19年4月に経営統合した株式会社デンコードー(66店舗)の店舗看板を、宣伝や店舗管理の効率化を推進するため「デンコードー」から「ケースデンキ」へと順次変更を開始いたしました。また、東北・北海道地区の経営効率化を進めるため、平成19年10月1日付で、いずれも当社の完全子会社であります株式会社デンコードーと株式会社東北ケースデンキの合併も行っていました。また、平成19年12月1日付で、FC会社でありました土橋電気株式会社を株式会社関西ケースデンキに吸収合併し、関西地区での経営効率化も進めてまいりました。更に、下表のとおり直営店15店を開設して営業基盤の強化を図り、一方、株式会社デンコードーと株式会社東北ケースデンキが競合していた店舗など直営店21店をスクラップして経営効率の改善も図ってまいりました。

出店状況につきましては次のとおりです。

法人名	新店
(株)ケースホールディングス(5店舗)	千葉県：木更津本店(4月)、茂原本店(5月) 茨城県：ひたち野うしく本店(12月) 栃木県：ハーヴェストプレース足利(12月) 東京都：稲城若葉台店(7月)
(株)ギガス(2店舗)	愛知県：田原パワフル館(6月)、小牧パワフル館(9月)
(株)関西ケースデンキ(1店舗)	滋賀県：長浜パワフル館(12月)
(株)ビッグ・エス(2店舗)	徳島県：鴨島パワフル館、徳島藍住本店(6月)
(株)北越ケース(1店舗)	新潟県：女池インター本店(10月)
(株)九州ケースデンキ(1店舗)	鹿児島県：鹿児島本店(12月)
(株)デンコードー(3店舗)	北海道：室蘭店(4月) 山形県：米沢店(5月) 宮城県：石巻店(7月)

これらにより、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は293店(直営店262店、FC店31店)となりました。(その他にPCデポFC店、アウトレット店、携帯電話専門店等があります。)

以上の結果、売上高は4,276億44百万円(前年同期比131.2%)、営業利益58億45百万円(前年同期比141.1%)、経常利益126億73百万円(前年同期比129.9%)、四半期純利益69億10百万円(前年同期比143.6%)といずれも大幅な伸長を遂げることができました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

第3四半期末における資産合計は前年同四半期に比べ、860億39百万円増加して、2,673億34百万円となりました。これは、新規店舗の増加に加え、平成19年1月に株式会社北越ケース、株式会社東海ケース、株式会社九州ケースデンキの3社が、また平成19年4月に株式会社デンコードーが連結子会社となりましたこと等によるものです。

負債合計は、前年同四半期に比べ、642億35百万円増加し、1,783億19百万円となりました。これも、グループ会社の拡大にともなう短期借入金の増加や買掛金の増加などによるものです。

純資産合計は、前年同四半期に比べ、218億4百万円増加して、890億15百万円となりました。これも企業統合の為の株式交換による資本剰余金の増加や利益剰余金の増加等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年11月7日に行いました、中間決算短信の連結業績発表以降も、米国サブプライム問題による金融不安や年金問題に対する将来不安、また原油価格の高騰による諸物価の値上げ不安、更に住宅着工の遅れなども加わり、消費には力強さが見えないまま推移いたしました。そのため業績につきましては、公表予想を若干見直し、通期の業績予想を2ページに記載のとおり修正しております。また、同様の理由から個別業績予想も修正しております。

なお、今回の業績修正予想と平成19年11月7日付中間決算短信で発表いたしました連結及び個別の通期業績予想との増減につきましては以下のとおりであります。

(通期)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	597,000	9,600	18,600	9,800
今回修正予想 (B)	580,000	9,000	18,000	9,500
増減額 (A - B)	17,000	600	600	300
増減率 (%)	2.8	6.3	3.2	3.1

【参考】個別業績予想

(通期)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	464,000	10,400	13,400	7,700
今回修正予想 (B)	456,000	9,950	13,000	7,540
増減額 (A - B)	8,000	450	400	160
増減率 (%)	1.7	4.3	3.0	2.1

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(株式会社デンコードー)

平成19年2月27日開催の臨時株主総会決議により、平成19年4月1日付で株式会社デンコードーと株式交換を行い、同社を完全子会社といたしました。

除外 1社(株式会社東北ケースデンキ)

平成19年10月1日付で株式会社東北ケースデンキは、当社子会社の株式会社デンコードーを存続会社とする吸収合併を行い、解散いたしました。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準については、法定実効税率をベースとした簡便法により計算しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

当事業年度より法人税法の改正に伴い、平成19年4月1日以降取得する固定資産については、改正法人税法に規定する償却方法により、減価償却費を計上しております。

これに伴い、前第3四半期連結会計期間と同一の方法によった場合と比べ、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は133百万円減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		増減 金額	(参考) 前期末 (平成19年3月期末)	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
(資産の部)		%		%			%
流動資産							
1. 現金及び預金	7,311		13,005		5,694	6,856	
2. 受取手形及び売掛金	18,997		22,109		3,111	13,479	
3. たな卸資産	65,072		99,990		34,917	66,474	
4. その他	4,995		7,454		2,458	4,013	
5. 貸倒引当金	72		96		24	59	
流動資産合計	96,305	53.1	142,463	53.3	46,157	90,764	49.9
固定資産							
1. 有形固定資産							
(1) 建物及び構築物	28,540		48,287		19,747	32,053	
(2) 土地	10,948		19,578		8,629	11,469	
(3) その他	3,643		4,187		544	4,035	
有形固定資産合計	43,132	23.8	72,053	26.9	28,921	47,558	26.2
2. 無形固定資産							
(1) のれん	2,355		2,049		306	2,542	
(2) その他	635		613		21	587	
無形固定資産合計	2,991	1.7	2,662	1.0	328	3,130	1.7
3. 投資その他の資産							
(1) 投資有価証券	5,308		6,499		1,191	5,568	
(2) 長期貸付金	9,966		12,257		2,291	9,996	
(3) 差入敷金保証金	16,582		21,299		4,716	17,482	
(4) その他	7,006		10,141		3,135	7,373	
(5) 貸倒引当金	16		50		33	11	
投資その他の資産合計	38,846	21.4	50,147	18.8	11,300	40,410	22.2
固定資産合計	84,969	46.9	124,863	46.7	39,893	91,099	50.1
繰延資産	19	0.0	8	0.0	11	14	0.0
資産合計	181,294	100.0	267,334	100.0	86,039	181,878	100.0

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	期別	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)		当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)		増減 金額	(参考) 前期末 (平成19年3月期末)		
		金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	
(負債の部)									
流動負債									
1. 買掛金		47,644		59,844		12,200		33,109	
2. 短期借入金		27,819		65,752		37,932		35,447	
3. 賞与引当金		674		1,180		505		1,497	
4. ポイント引当金		-		811		811		-	
5. 1年以内償還予定社債		400		200		200		425	
6. その他		8,992		13,397		4,405		13,232	
流動負債合計		85,530	47.2	141,185	52.8	55,655		83,711	46.0
固定負債									
1. 社債		470		450		20		550	
2. 長期借入金		20,736		22,583		1,846		19,109	
3. 退職給付引当金		134		2,288		2,154		169	
4. 役員退職慰労引当金		442		966		523		506	
5. 商品保証引当金		1,701		2,107		406		1,951	
6. 負ののれん		2,242		4,292		2,050		1,994	
7. その他		2,827		4,446		1,618		2,999	
固定負債合計		28,553	15.7	37,133	13.9	8,580		27,280	15.0
負債合計		114,084	62.9	178,319	66.7	64,235		110,992	61.0
(純資産の部)									
株主資本									
1. 資本金		12,372		12,785		412		12,539	
2. 資本剰余金		26,927		44,655		17,727		28,324	
3. 利益剰余金		28,381		36,284		7,902		30,712	
4. 自己株式		876		5,144		4,267		1,096	
株主資本合計		66,804	36.9	88,579	33.1	21,775		70,479	38.8
評価・換算差額等									
1. その他有価証券評価差額金		335		142		192		352	
評価・換算差額等合計		335	0.2	142	0.0	192		352	0.2
新株予約権		-	-	145	0.1	145		-	-
少数株主持分		70	0.0	146	0.1	76		53	0.0
純資産合計		67,210	37.1	89,015	33.3	21,804		70,886	39.0
負債純資産合計		181,294	100.0	267,334	100.0	86,039		181,878	100.0

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(2)(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)		当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)		増 減		(参 考) 前期 (平成19年3月期)	
		金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
			%		%		%		%
売 上 高		325,906	100.0	427,644	100.0	101,738	31.2	431,118	100.0
売 上 原 価		275,186	84.4	347,988	81.4	72,802	26.5	361,071	83.8
売 上 総 利 益		50,719	15.6	79,655	18.6	28,935	57.1	70,046	16.2
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		46,575	14.3	73,809	17.2	27,233	58.5	63,910	14.8
営 業 利 益		4,143	1.3	5,845	1.4	1,701	41.1	6,136	1.4
営 業 外 収 益									
1.仕 入 割 引		4,493		5,284		790		6,190	
2.そ の 他		1,898		2,830		932		2,733	
営 業 外 収 益 合 計		6,391	1.9	8,115	1.9	1,723	27.0	8,924	2.1
営 業 外 費 用									
1.支 払 利 息		343		699		356		506	
2.そ の 他		433		588		154		643	
営 業 外 費 用 合 計		776	0.2	1,287	0.3	511	65.8	1,150	0.3
経 常 利 益		9,759	3.0	12,673	3.0	2,914	29.9	13,910	3.2
特 別 利 益		10	0.0	213	0.0	203	2,037.9	18	0.0
特 別 損 失		1,593	0.5	1,239	0.3	354	22.2	1,677	0.4
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益		8,175	2.5	11,647	2.7	3,472	42.5	12,251	2.8
法 人 税 等		3,337	1.0	4,717	1.1	1,380		5,098	1.1
少 数 株 主 利 益		26	0.0	19	0.0	7		10	0.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益		4,811	1.5	6,910	1.6	2,099	43.6	7,142	1.7

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(3)(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	(参 考) 前 期 (平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		8,175	11,647	12,251
減価償却費		2,540	4,395	3,545
賞与引当金の増加(減少)額		546	988	265
退職給付引当金の減少額		5	113	0
商品保証引当金の増加額		1,701	155	1,847
受取利息及び受取配当金		236	302	314
支払利息		343	699	506
売上債権の増加額		4,653	4,737	966
たな卸資産の増加額		13,190	17,286	11,545
仕入債務の増加(減少)額		14,656	18,813	101
その他		1,912	1,616	372
小 計		6,872	10,666	5,860
利息及び配当金の受取額		109	123	133
利息の支払額		346	708	510
法人税等の支払額		5,248	7,392	4,995
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,387	2,688	486
投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産の取得による支出		5,121	13,843	8,700
有形固定資産の売却による収入		1	441	14
投資有価証券の取得による支出		1,996	1,328	2,525
投資有価証券の売却による収入		1,819	673	2,372
新規連結子会社株式の取得による収入		-	-	259
関連会社株式の追加取得による支出		499	19	499
貸付けによる支出		2,118	1,749	2,339
貸付金の回収による収入		91	979	1,165
差入保証金の差入による支出		1,147	1,799	1,627
差入保証金の回収による収入		599	755	778
その他		9	6	38
投資活動によるキャッシュ・フロー		8,380	15,884	11,063
財務活動によるキャッシュ・フロー				
借入金の増加額		8,971	20,785	10,786
社債の償還による支出		100	325	215
自己株式取得による支出		49	3,011	65
子会社の所有する親会社株式の売却による収入		-	-	778
株式の発行による収入		231	486	564
配当金の支払額		731	1,338	731
その他		127	163	162
財務活動によるキャッシュ・フロー		8,195	16,433	10,955
現金及び現金同等物に係る換算差額		-	-	-
現金及び現金同等物の増減額		1,201	3,237	378
現金及び現金同等物の期首残高		6,109	6,826	6,109
株式交換による現金及び現金同等物の増加額		-	2,907	337
合併による現金及び現金同等物の増加額		-	34	-
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		7,311	13,005	6,826

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。